（別紙様式4）

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和5年7月31日

（前回公表年月日：令和4年7月　30日）

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
YIC情報ビジネス専門学校	平成1年8月24日	校長　中川　達也	〒　754-0021 （住所）山口県山口市小郡黄金町2番24号 （電話）083-976-8354
設置者名	**設立認可年月日**	**代表者名**	**所在地**
学校法人YIC学院	平成19年4月1日	理事長　井本　浩二	〒　754-0021 （住所）山口県山口市小郡黄金町2番24号 （電話）083-976-8111

分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士
商業実務	商業実務専門課程	ペット総合学科　トリマー	商業実務専門課程 平成23年文部科学省告示166号	－

学科の目的	教育基本法及び学校教育法に基づき、商業実務分野及び教養面に関する専門知識・技術を教授するとともに良識なる社会人として必要な資質を養い、国家、地域社会の発展に貢献できる心豊かなスペシャリストの育成を目的とする
認定年月日	平成26年3月31日

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2　年	昼間	1830時間	450時間	1290時間	90時間		
							1830時間

生徒総定員	生徒実員	留学生数（生徒実員の内	専任教員数	兼任教員数	総教員数
20人	25人 うちトリマー15人	0人	2人	11人	13人

学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～翌年3月31日	成績評価	■成績表：　有 ■成績評価の基準・方法 【学生便覧　学習の手引き　5. 成績評価】 ①成績評価は、試験のほか確認テスト、模擬テスト、レポート、出席状況、授業態度により総合的に評価する。 ②評価結果は、秀、優、良、可、不可の5段階とし、秀、優、良、可を合格、不可を不合格とする。 判定評価点成績GP成績評価内容 合格100～90点秀4到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果をおさめている 89～80点優3到達目標を十分に達成している 79～70点良2到達目標を達成している 69～60点可1到達目標を最低限達成している 不合格59点以下不0到達目標を達成していない 未履修—各科目について欠課が授業時数の1／3を超えるもの ※GPAの対象としない ③評価結果が不可の者に対し再試験を実施することがある。再試験実施後、試験の結果の代わりに再試験の結果を用いて評価をやりなおす。ただし、秀、優、良相当の成績であっても評価結果は可とする。 ④年度末に通年の評価結果の一覧を成績表として、保護者（保証人）に送付する。 ⑤卒業年次生は、就職活動に際し成績証明書の必要な場合がある。そのため、申請のあった者については各期末終了日前に、受講中の教科科目について中間評価を行う。その際、確認テストや模擬テスト、レポート、出席状況等をもとに評価を行う。
長期休み	■学年始め：4月1日～4月7日 ■夏　　季：7月27日～8月30日 ■冬　　季：12月22日～翌1月5日 ■学 年 末：2月22日～3月31日	卒業・進級条件	【学生便覧　学習の手引き　7. 進級・卒業】 ①進級要件 年度末において次の要件のすべて満たしていること。 a. 各学科の定める当該年次の教科科目のうち、必修科目、選択必修科目の成績評価が すべて可以上であり、進級必要単位数を修得している。 b. 当該年次の学費、教材費等が納められていること。 ②卒業要件 卒業年次の年度末において次の要件のすべて満たしていること。 a. 各学科の定める教科科目のうち、必修科目、選択必修科目の成績評価が すべて可以上であり、卒業必要単位数を修得している。 b. 全ての学費、教材費等が納められていること。

学修支援等	■クラス担任制：　有 ■個別相談・指導等の対応 （出席状況不良者への対応） ・担任は原則として1か月ごとに担当学年の出席状況を確認する。 ・担任は科目の出席率が8割を満たない者は、学生と面談を行い、その結果を学科責任者及び職員会議で報告する。必要に応じて学生指導及び保護者連絡を行う。 （長期欠席者への対応） ・上記の対応に加え、欠席が長期に渡る者については、電話連絡を密にし、必要に応じて学生及び保護者を召喚し、面談を行う。 ・学生及び保護者への対応を行った時は、その内容を学生個人記録に記録する。	課外活動	■課外活動の種類 （例）学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 学生会（学生自治組織・学園祭の実行委員会等を行う） ■サークル活動：
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等（令和4年度卒業生） トリミングサロンRaiRa ペッツパーク防府店 ペットサロンマルコ　等 ■就職指導内容 キャリアサポート室との連携による、企業開拓、履歴書指導、インターンシップの実施等 ■卒業者数　10　人 ■就職希望者数　10　人 ■就職者数　10　人 ■就職率　100　% ■卒業者に占める就職者の割合 ：　100　% ■その他 （令和　　4 年度卒業者に関する令和５年７月３１日時点の情報）	主な学修成果（資格・検定等）※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 （令和5年度卒業者に関する令和5年5月1日時点の情報） 資格・検定名 / 種別 / 受験者数 / 合格者数 トリマー１級 / ③ / 10人 / 9人 ペット販売士 / ③ / 10人 / 10人 小動物保健福祉士 / ③ / 10人 / 10人 ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他（民間検定等） ■自由記述欄 （例）認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等
中途退学の現状	■中途退学者　1 名　■中退率　4 % 令和４年4月1日時点において、在学者23名（令和４年4月1日入学者を含む） 令和５年3月31日時点において、在学者22名（令和５年3月31日卒業者を含む） ■中途退学の主な理由 進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 ・1・2年の年初にQU（楽しい学校生活を送るためのアンケート）実施 ・クラス担任による定期的な面談 ・年1回保護者面談・3者面談を実施（7～8月） ・状況に応じて保護者への電話連絡、個別面談を行う。		
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：　有 ※有の場合、制度内容を記入 指定校推薦奨学生制度（授業料5万円減免）、自己推薦奨学生制度（授業料3万円減免）、社会人特待生制度（授業料5万円減免）、進級時成績優秀者奨学生制度（1～10万円給付）、YICファミリーサポート（授業料5万円減免）、YIC卒業生授業料サポート（授業料10万円減免）、遠距離サポート（毎月3千円支給）、ひとりぐらしサポート（毎月0．5～1万円支給）、高度情報系試験合格奨励金制度（1万円～30万円）、情報系国家試験受験料サポート制度（7,500円） ■専門実践教育訓練給付：　有り ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載 1名		
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価：　無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体：〇〇〇〇　受審年月：〇年〇月　評価結果を掲載したホームページＵＲＬ　〇〇〇〇		
当該学科のホームページURL	http://www.yic.ac.jp/ib/course/pet/		

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

・学科の専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について意見交換を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とした員会（教育課程編成委員会）を置く。
・審議事項は次の事項とする：カリキュラムの企画・運営・評価、各授業科目の内容・方法の充実及び改善、教科書・教材の選定、教員研修。
・委員会には学校関係者のほか、専攻分野に関する企業等の役員または有識者を1人以上加えることとし、企業等との連携を密にする。　　（以上 学校法人YIC学院　教育課程編成委員会規則 より抜粋）

（2）教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

・「学校法人YIC学院は、設置する専門学校各校の各学科に、専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とした委員会を置く。」（学校法人 YIC学院　教育課程編成委員会規程第2条より）
・カリキュラムは、教育課程編成委員会の意見等を参考に、学内教育課程編成委員会において編成する。教職員会議での検討を経た後、理事会の承認を受け最終決定。
・授業内容・方法の改善・工夫等については、教育課程編成委員会の意見を参考に、可及的速やかに対応する。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年7月31日

名　前	所　　属	任期	種別
中野　正司	山口県獣医師会防府支部長 なかの動物病院　院長	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	①
手嶋　大悟	有限会社アビーロード　代表取締役社長	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	③
中川 達也	校長		
河津 道正	副校長		
飯田 直樹	事務長		
森野 茂弘	教務課長		
豊田菜摘	教務係長		
山本桂子	教務係長		
西田八千代	学科長		
引地舞	教員		

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
（当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。）
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

（年間の開催数及び開催時期）
年間2回（6月～8月、2月～3月）

（開催日時（実績））
第1回　令和5年6月26日　15：00～16：00
第2回　令和6年2月～3月　実施予定

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
皮膚病変等カラーアトラス導入⇒カラーテキストをトリミング実習室に設置、次年度よりサブテキストとして購入
歯科の強化⇒歯の構造、歯科疾患についてカリキュラムに導入、担当犬の口腔内観察を行いカルテに記入
次年度カリキュラム作成⇒作成済み
ビジネス系科目の強化⇒パソコンスキルを通年で実施し検定試験を受ける（Excel、Word）

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
・山口県内の、学生の住居近くの施設を選定している。
・学生の興味分野や就職希望分野（進路）も踏まえ、実習指導者との連携がとれる施設を選定している。
・指導者の監督の下、見学・実習を行い職業理解に努める。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容
※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
・実習、演習においては企業への「誓約書」「同意書」の提出、企業間で「覚書」を交わしている。
・実習・演習の方法・成績評価の方法について実習指導者・教員・学生間で共有している。
・実習期間中は教員が電話あるいは訪問して状況確認を行い、問題があれば対応について協議する。実習指導者が記入する。企業実習評価報告書と、実習終了後に行う報告会での報告内容を踏まえ、教員が最終成績評価・単位認定を行う。

（3）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	科　目　概　要	連　携　企　業　等
インターンシップⅠ	ペットサロン、動物病院等での職業体験を行い、働く事の意義や自分に足りていない物事を考え、今後の課題として認識する。	ドッグトータルアドバイザーWith Dog いぬ吉 ペットワールドアミーゴ
インターンシップⅡ	企業、動物病院などで、就業体験を行い、働く意義や仕事の大切さを学び、将来進むべき道を考える。	ドッグサロン花陰 ペットランドあつまれ ペットサロンマルコ

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係	
（1）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針 （教員の研修等の基本方針） ・YICグループ教職員研修規程に基づき計画的に研修を実施している。 ・常に変化する業界動向に合わせて、技術・知識の確認をするために、企業企画・イベントの参加を推奨している。 ・資格取得のための研修を推奨している。	
（2）研修等の実績（前年度分） ①専攻分野における実務に関する研修等	
研修名： 「JKCプードル部会　自主研修会動画」 期間： 令和 4年 8月26日　12:30～14:30 内容 スカンジナビアン・クリップ、モダーン・クリップ、セカンドパピーについて	連携企業等： 一般社団法人ジャパンケネルクラブ 対象： JKCトリマーライセンス有資格者
②指導力の修得・向上のための研修等	
研修名： コマシラバス　主体的協働的ブラッシュアップ講習 期間： 令和 4年12月27日　13:30～15:00 内容 コマシラバス作成について、課題作成等	連携企業等： 学校法人YIC学院 対象： 教員
（3）研修等の計画（今年度分） ①専攻分野における実務に関する研修等	
研修名： JKC義務講習会 期間： 令和５年１１月８日（水）　14:00～（終了時間未定） 内容 基礎栄養学・体重管理・皮膚被毛について	連携企業等： ロイヤルカナン関係者 対象： 教員
②指導力の修得・向上のための研修等	
研修名： YIC夏季研修 期間： 令和５年８月２１日　13:00～15:00 内容 教職員向け Chat GPT講座～基礎から応用まで～	連携企業等： 学校法人YIC学院 対象： 教員

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

（1）学校関係者評価の基本方針
・学校関係者評価委員会において、本校が行う自己点検評価の結果と根拠を示し、とくに当該年度の重点項目を中心に意見等を まとめ報告書を作成していただく。
・学校関係者評価委員会からの報告書に基づいて本校の自己点検評価を見直し、次年度の改善計画における重点項目を決定する。
これらについて年報・ホームページ等で公表する。

（2）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
（1）教育理念・目標	1　建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標
（2）学校運営	7　管理運営
（3）教育活動	2　教育の内容
（4）学修成果	4　教育目標の達成度と教育効果
（5）学生支援	5　学生支援
（6）教育環境	3　教育の実施体制
（7）学生の受入れ募集	5　学生支援
（8）財務	8　財務
（9）法令等の遵守	7　管理運営
（10）社会貢献・地域貢献	6　社会的活動
（11）国際交流	

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）学校関係者評価結果の活用状況
・本校で実施した自己点検評価・改善計画を学校関係者評価委員会に提出し、意見・協議結果をもとに学校機能評価報告を
まとめ、年報・ホームページで公開する。改善計画にもとづき学校運営や教育の改善を計画的に行う。
またシラバスがテキストの目次に基づくものが多く、具体性がない。
今後、シラバス・コマシラバスの整備をインストラクショナル・デザインを取り入れて改善していくことに決定した。

（4）学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名　前	所　　属	任期	種別
山﨑　真里	情報工学科　在校生　保護者	令和4年4月1日～令和6年3月31日（2年）	保護者代表
髙村 奈生人	ビジネス系学科　卒業生　株式会社三知 山口支店	令和4年4月1日～令和6年3月31日（2年）	卒業生
阪上　誠	株式会社テクノプロ　テクノプロ・デザイン社 新卒採用部　部長	令和4年4月1日～令和6年3月31日（2年）	企業関係者（情報工学科）
阿部　誉久	山口商工会議所 広域ビジネスサポートセンター長	令和4年4月1日～令和6年3月31日（2年）	職能団体（情報ビジネス科）
臼渕 厚史	株式会社　山口グランドホテル　代表取締役社長	令和4年4月1日～令和6年3月31日（2年）	企業関係者（国際ホテル・ブライダル学科）
兼重　顕治	医療法人　協愛会　阿知須共立病院 事務部経営企画室人材開発グループリーダー	令和4年4月1日～令和6年3月31日（2年）	企業関係者（医療事務学科）
中野 園子	山口県獣医師会の会員獣医師　なかの動物病院　副院長	令和4年4月1日～令和6年3月31日（2年）	企業関係者（ペット総合学科）
縄田　道孝	学校法人 鴻城義塾 山口県鴻城高等学校	令和4年4月1日～令和6年3月31日（2年）	高校関係者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
（例）企業等委員、PTA、卒業生等

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
（ホームページ）
URL：　https://www.yic.ac.jp/ib/disclosure/
公表時期：　令和5年7月31日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（1）企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
・「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の趣旨に則り、原則として、ガイドラインが推奨する内容（提供する情報の項目例）全てについて、ホームページ上にて情報提供する。

（2）「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
（1）学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画
（2）各学科等の教育	各学科（コース）等の教育
（3）教職員	教職員
（4）キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育
（5）様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
（6）学生の生活支援	学生生活支援
（7）学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
（8）学校の財務	学校の財務
（9）学校評価	学校の評価
（10）国際連携の状況	国際連携の状況
（11）その他	その他

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）情報提供方法
（ホームページ）
URL：　https://www.yic.ac.jp/ib/disclosure/
公表時期：　令和5年7月31日

授業科目等の概要

	（商業実務専門課程　国際ホテル・ブライダル学科）																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			パソコンスキル	Excel、Wordの基本的な使い方について講義と演習をする。	1前	30	2		○		○			○	
2	○			ビジネスマナーⅠ	社会人としてのビジネスマナーを身に付ける。立ち方、座り方、お辞儀の仕方、場面に応じた言葉遣いと感じのよい振る舞い、基本的な来客応対ができるようになる。	1前	30	2		○		○			○	
3	○			ビジネスマナーⅡ	企業人として、会社内でお客様をおもてなしする際のマナーを学ぶ。来客応対の基礎として、受付、取り次ぎ、ご案内の仕方を身につけ、また、お客様のご要望に合わせた臨機応変な応対を修得する。	1後	30	2		○		○			○	
4	○			動物繁殖学	繁殖に関わる形態機能を学び、妊娠、分娩と新生児管理、遺伝学の基礎を修得する。	1後	30	2	○			○		○		
5	○			動物看護学概論Ⅰ	犬と猫の生理、生態、習性などの違いについて学ぶ。それぞれの特徴、飼育方法、扱い方を学び、正常と異常について学ぶ。	1前	30	2	○			○		○		
6	○			動物看護学概論Ⅱ	保定法や基本的な動物看護について学ぶ。老齢管理等ライフステージや季節に合った飼育方法や管理について学ぶ。	1後	30	2	○			○		○		
7	○			動物医療関連法規	動物や獣医療に関連する様々な法規について学び、社会における動物看護の役割を理解する。	1後	30	2	○			○			○	
8	○			動物福祉・倫理	生命倫理について学ぶ。日本や世界での動物の扱い方、扱われ方、考え方について学ぶ。現在のペット業界に関する問題点を学ぶ。	1前	30	2	○			○			○	
9	○			動物臨床栄養学・基礎	五大栄養素やその代謝など基礎栄養学を学ぶと共に、ライフステージや給餌量の計算方法について学ぶ。	1後	30	2	○			○		○		
10	○			ドッグトレーニング	基本的行動様式や特徴を学び、正しいハンドリング及び基本的なしつけを修得する。問題行動の原因と対処、予防法を理解する。	1前	30	2		○		○			○	
11	○			ペット一般教養	犬体名称や品種の歴史、成り立ちなどの特徴やトリミング用語、ペットの流通販売に関する一般教養や用語を学ぶ。	1前	30	2	○			○		○		
12	○			ペット検定対策Ⅰ	過去の模擬試験問題とテキストを使用し、ペット販売士・小動物保健福祉士の合格を目指す。	1後	60	4	○			○		○		
13	○			動物形態機能学	犬猫の体のつくりについて学ぶ。各臓器の解剖生理、生命維持に対する役割から代表的な疾病を学ぶ。	1前	60	4	○			○			○	
14	○			動物感染症学・基礎	感染が成り立つ背景、原因を知り、環境衛生を含めた衛生管理の考え方を修得する。病原体の種類と特徴を学び、感染症の知識を身に付ける。	1前	60	4	○			○			○	
15	○			トリミング実習Ⅰ（基礎）	犬猫の品種における身体の特徴や扱い方を学ぶ。基本的なグルーミング技術の習得（シャンプー・爪切り・耳掃除・バリカン等）	1前	240	16		○		○		○	○	
16	○			トリミング実習Ⅰ（応用）	基本的なグルーミング技術の習得（ハサミを使ってのグルーミング）	1後	240	16		○		○		○	○	
17	○			インターンシップⅠ	ペットサロン、動物病院等での職業体験を行い、働く事の意義や自分に足りていない物事を考え、今後の課題として認識する。	1後	30	1			○		○			○
18	○			高度トリミング実習Ⅰ	高度なトリミング技術を身に付ける。様々な犬種に合わせたカットが出来るようになる。	2前	240	16		○		○		○	○	
19	○			ペット検定対策Ⅱ	過去の模擬試験問題とテキストを使用し、ペット販売士・小動物保健福祉士の合格を目指す。	2前	60	4	○			○		○		
20	○			技術大会トリミング実習Ⅰ	技術大会及びコンテストを目指し、トリミング技術の高度技術を実習で磨く。	2前	120	8		○		○		○	○	
21	○			インターンシップⅡ	企業、動物病院などで、就業体験を行い、働く意義や仕事の大切さを学び、将来進むべき道を考える。職場内でのコミュニケーションの大切さを体験する。	2前	60	2			○		○			○
22	○			高度トリミング実習Ⅱ	高度なトリミング技術を身に付ける。様々な犬種に合わせたカットが出来るようになる。	2後	240	16		○		○		○	○	
23	○			技術大会トリミング実習Ⅱ	技術大会及びコンテストを目指し、トリミング技術の高度技術を実習で磨く。	2後	90	6		○		○		○	○	
合計					23　科目			1830　単位時間								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	学則より ａ．各学科の定める教科科目のうち、必修科目、選択必修科目の成績評価がすべて可以上であり、卒業必要単位数を修得している。 ｂ．全ての学費、教材費等が納められていること。 必修科目１８３０時間	１学年の学期区分	2 期
履修方法：	履修方法は講義、演習、実習	１学期の授業期間	16 週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。